

数年に1度流行する感染症

②風しん

【概要】

- 風しんウイルスによる感染症。
- ワクチンがあり、現在は予防接種が勧奨されています。
- 特別な治療法はなく、対症療法が行われます。



【感染経路】

- 患者の咳やくしゃみ、会話の時に発生するしぶき（飛まつ）に含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛まつ感染」
- ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」
- 妊娠初期の妊婦が風しんウイルスに感染すると、児が先天性風しん症候群（CRS）を発症することもあるので、妊娠計画・出産予定のある方、およびパートナーは注意が必要。

【潜伏期間・症状】

- 潜伏期間は2～3週間（平均16～18日）。
- 発熱、淡紅色の発疹（顔→体幹→全身）、リンパ節腫脹（耳介後部、後頭部、頸部など）が出現。
- 基本的に予後は良好。関節炎や急性脳炎などの合併症を発症することもある。
- 大人がかかると、症状は小児に比べ一般に重い。

【予防対策】 ワクチンの接種

ワクチン接種で免疫をあらかじめ獲得しておくこと。
2回の予防接種で防げる病気です。

